



## 2023年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社Amazia

上場取引所 東

コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐久間 亮輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 神津 光良

TEL 03-6427-8856

定時株主総会開催予定日 2023年12月26日

有価証券報告書提出予定日 2023年12月27日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家及びアナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期の業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	4,650	29.0	10	91.1	15	89.6	60	
2022年9月期	6,547	12.8	116	59.4	144	50.4	41	77.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年9月期	9.27		3.3	0.6	0.2
2022年9月期	6.14	6.04	2.1	4.9	1.8

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 百万円 2022年9月期 百万円

(注) 2023年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	2,576	1,878	70.0	274.38
2022年9月期	2,864	2,041	66.1	286.40

(参考) 自己資本 2023年9月期 1,803百万円 2022年9月期 1,893百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年9月期	160	196	28	1,345
2022年9月期	57	130	94	1,731

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年9月期		0.00		0.00	0.00			
2023年9月期		0.00		0.00	0.00			
2024年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,966	21.3	207		208		212		32.33
	～2,134	～14.6	～200		～201		～205		～31.28
通期	4,000	14.0	460		461		467		71.04
	～4,674	～0.5	～373		～374		～380		～57.79

(注) 2024年9月期の業績予想につきましては、レンジ形式により表示しております。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 有
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期	6,754,600 株	2022年9月期	6,754,600 株
期末自己株式数	2023年9月期	180,504 株	2022年9月期	143,599 株
期中平均株式数	2023年9月期	6,575,589 株	2022年9月期	6,716,082 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2023年11月14日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(表示方法の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(収益認識関係) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2023」によると、2022年度の電子書籍市場規模は6,026億円と推計され、2021年度の5,510億円から516億円(9.4%)増加し、2027年度には8,000億円を超える市場に成長すると予測されています。

一方で、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。また、引き続き厳しい競争環境や世界経済の停滞及び国内のインフレが、アクティブユーザー数の伸び悩みや1人当たりの課金売上の低下をもたらしていることに加え、広告市況の悪化により広告単価が低下したため、広告収益が減少しました。

このような市場環境の中で、「マンガBANG!」の主力であるフリーミアムモデル(注)のコーナーにおいて、配信される作品の差別化を図るために、出版社との信頼関係を深化させ、先行配信や人気作品の配信数の増加に努めるとともに、引き続き、オリジナル作品の制作、マンガアプリの海外展開も強化しております。

以上の結果、当事業年度における売上高は4,650,427千円(前年同期比29.0%減)、営業利益は10,380千円(前年同期比91.1%減)、経常利益は15,009千円(前年同期比89.6%減)、当期純損失は60,926千円(前年同期は当期純利益41,243千円)となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(注)フリーミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当事業年度末における総資産は2,576,167千円となり、前事業年度末に比べ288,024千円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が103,125千円、有形固定資産が68,876千円増加した一方、現金及び預金が385,903千円、繰延税金資産が70,330千円減少したことによるものであります。

#### (負債の部)

当事業年度末における負債合計は697,171千円となり、前事業年度末に比べ125,710千円減少いたしました。これは主に、買掛金が93,279千円、未払金が36,665千円減少したことによるものであります。

#### (純資産の部)

当事業年度末における純資産は1,878,996千円となり、前事業年度末に比べ162,313千円減少いたしました。これは主に、当期純損失の計上により利益剰余金が60,926千円、新株予約権が72,733千円減少したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ385,903千円減少し、1,345,743千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果使用した資金は、160,084千円（前事業年度は57,328千円の収入）となりました。その主な要因は、売上債権の減少により43,868千円資金が増加した一方、仕入債務の減少93,279千円、法人税等の支払55,235千円、未払金の減少36,665千円により資金が減少したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は、196,974千円（前事業年度は130,301千円の支出）となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得による支出103,125千円、有形固定資産の取得による支出73,006千円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果使用した資金は、28,844千円（前事業年度は94,924千円の支出）となりました。その主な要因は、自己株式の取得による支出28,814千円によるものであります。

### (4) 今後の見通し

当社を取り巻く事業環境におきましては、電子書籍市場が拡大する中で、同業各社におけるシェア拡大のための価格競争が激化していること、世界経済の停滞及び国内のインフレによる広告市況の悪化に伴う広告収益単価の低下等、厳しい市場環境が続いております。

当社は、このような厳しい市場環境が当面続くものと想定しております。このような状況の中、一定規模のMAUが維持できる水準で広告宣伝費を効率的に投下しつつ、オリジナル作品の制作に注力し、大ヒット・メディアミックス化による収益の重層化を目指して参ります。また、2023年10月にWeb版「マンガBANG!」を「マンガBANGボックス」にリニューアルし、Web電子書籍市場にも本格的に参入いたします。「マンガBANGボックス」では、アプリで培ったユーザー基盤を基に、価格面での競争力強化に努め、売上拡大を目指します。

加えて、海外展開につきましても、引き続き配信作品の拡充、アプリの機能追加等を行って参ります。

新規事業におきましては、当社の強みであるアプリ開発力とマネタイズ力を活用したサービスの創出を目指すとともに、事業シナジーを見据えたM&Aも有効手段として検討する等、当社の事業拡大に必要な先行投資を積極的に進めて参ります。

しかしながら、リニューアルした「マンガBANGボックス」の拡大や予定している新規事業の立ち上がり等を考慮した場合、投資家の皆様に対して、より有用かつ合理的な情報提供を行う観点から、レンジ形式による業績予想開示を採用いたしました。

以上より、2024年9月期の業績は、売上高4,000～4,674百万円（前年同期比△14.0%～0.5%増）、営業利益は△460～△373百万円（前年同期10百万円）、経常利益は△461～△374百万円（前年同期15百万円）、当期純利益は△467～△380百万円（前年同期△60百万円）を見込んでおります。

### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用については、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,731,646	1,345,743
売掛金	679,922	636,053
コンテンツ	5,423	20,386
前渡金	-	19,800
前払費用	41,656	24,127
未収還付法人税等	-	26,507
その他	105,009	81,630
流動資産合計	2,563,659	2,154,248
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,494	10,494
減価償却累計額	△8,822	△10,159
建物(純額)	1,671	334
工具、器具及び備品	11,365	13,327
減価償却累計額	△7,491	△9,771
工具、器具及び備品(純額)	3,873	3,555
建設仮勘定	5,566	76,098
有形固定資産合計	11,111	79,988
投資その他の資産		
敷金及び保証金	178,647	198,361
投資有価証券	0	103,125
繰延税金資産	110,774	40,444
投資その他の資産合計	289,421	341,930
固定資産合計	300,532	421,918
資産合計	2,864,191	2,576,167

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	321,875	228,596
未払金	270,489	233,824
未払費用	6,402	10,538
未払法人税等	23,204	-
前受金	194,798	214,836
預り金	3,711	7,892
賞与引当金	2,400	1,480
その他	-	3
流動負債合計	822,882	697,171
負債合計	822,882	697,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	366,004	366,004
資本剰余金		
資本準備金	362,290	362,290
資本剰余金合計	362,290	362,290
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,268,777	1,207,851
利益剰余金合計	1,268,777	1,207,851
自己株式	△103,693	△132,346
株主資本合計	1,893,379	1,803,799
新株予約権	147,929	75,196
純資産合計	2,041,309	1,878,996
負債純資産合計	2,864,191	2,576,167

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,547,840	4,650,427
売上原価	4,202,376	3,197,672
売上総利益	2,345,464	1,452,754
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	1,778,456	1,065,434
役員報酬	71,130	73,980
従業員給料及び手当	126,169	155,048
法定福利費	29,272	34,748
支払報酬	44,848	40,396
その他	179,014	72,764
販売費及び一般管理費合計	2,228,890	1,442,373
営業利益	116,573	10,380
営業外収益		
受取利息	18	17
為替差益	20,780	870
受取手数料	6,597	3,733
その他	802	198
営業外収益合計	28,198	4,819
営業外費用		
株式交付費	90	30
支払手数料	535	160
その他	15	-
営業外費用合計	640	190
経常利益	144,132	15,009
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,600
特別利益合計	-	1,600
特別損失		
投資有価証券評価損	49,999	-
特別損失合計	49,999	-
税引前当期純利益	94,132	16,609
法人税、住民税及び事業税	74,875	7,206
法人税等調整額	△21,986	70,330
法人税等合計	52,889	77,536
当期純利益又は当期純損失(△)	41,243	△60,926

## 売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 仕入高		3,983,213	94.7	2,955,477	91.9
II 労務費		61,504	1.4	45,467	1.4
III 経費	※1	162,588	3.9	215,260	6.7
合計		4,207,307	100.0	3,216,206	100.0
他勘定振替高	※2	4,930		18,533	
売上原価		4,202,376		3,197,672	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注費	57,995	99,659
賃借料	90,449	101,265

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
コンテンツ	4,930	18,533
計	4,930	18,533

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						新株予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	361,504	357,790	357,790	1,227,534	1,227,534	△393	1,946,436	103,264	2,049,700
当期変動額									
新株の発行	4,500	4,500	4,500				9,000		9,000
当期純利益				41,243	41,243		41,243		41,243
自己株式の取得						△103,299	△103,299		△103,299
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								44,665	44,665
当期変動額合計	4,500	4,500	4,500	41,243	41,243	△103,299	△53,056	44,665	△8,390
当期末残高	366,004	362,290	362,290	1,268,777	1,268,777	△103,693	1,893,379	147,929	2,041,309

当事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本						新株予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	366,004	362,290	362,290	1,268,777	1,268,777	△103,693	1,893,379	147,929	2,041,309
当期変動額									
当期純損失(△)				△60,926	△60,926		△60,926		△60,926
自己株式の取得						△28,653	△28,653		△28,653
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								△72,733	△72,733
当期変動額合計	-	-	-	△60,926	△60,926	△28,653	△89,580	△72,733	△162,313
当期末残高	366,004	362,290	362,290	1,207,851	1,207,851	△132,346	1,803,799	75,196	1,878,996

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	94,132	16,609
減価償却費	3,788	4,129
差入保証金償却額	1,145	1,253
賞与引当金の増減額 (△は減少)	750	△920
投資有価証券評価損益 (△は益)	49,999	-
新株予約権戻入益	-	△1,600
受取利息	△18	△17
支払手数料	535	160
株式交付費	90	30
株式報酬費用	44,665	△71,133
売上債権の増減額 (△は増加)	69,759	43,868
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,761	△93,279
前受金の増減額 (△は減少)	30,147	20,038
未払金の増減額 (△は減少)	△191,545	△36,665
その他	△33,125	△16,453
小計	58,562	△133,977
利息及び配当金の受取額	18	17
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	27,858	△55,235
その他	△29,111	29,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,328	△160,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△49,999	△103,125
有形固定資産の取得による支出	△7,908	△73,006
敷金及び保証金の差入による支出	△72,423	△20,968
その他	30	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,301	△196,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,910	-
自己株式の取得による支出	△103,834	△28,814
その他	-	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,924	△28,844
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△167,898	△385,903
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,544	1,731,646
現金及び現金同等物の期末残高	1,731,646	1,345,743

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当事業年度において投資信託等を保有していないため、財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書)

前事業年度において、区分掲記しておりました「販売費及び一般管理費」の「株式報酬費用」は、金額的重要性が乏しいため、「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「販売費及び一般管理費」に表示していた「株式報酬費用」42,794千円、「その他」136,220千円は、「その他」179,014千円として組替えております。

(会計上の見積りの変更)

(新株予約権の見積りの変更)

当事業年度において、第6回新株予約権について権利不確定による失効数の見積りを変更しました。

この結果、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ98,373千円増加しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	4,410,617
法人向け	2,137,223
顧客との契約から生じる収益	6,547,840
その他の収益	-
外部顧客への売上高	6,547,840

当事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	3,179,538
法人向け	1,470,888
顧客との契約から生じる収益	4,650,427
その他の収益	-
外部顧客への売上高	4,650,427

## (持分法損益等)

当社は、関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産	286.40円	274.38円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	6.14円	△9.27円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	6.04円	—

- (注) 1. 当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	41,243	△60,926
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は 普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	41,243	△60,926
普通株式の期中平均株式数(株)	6,716,082	6,575,589
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	113,423	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第6回新株予約権 新株予約権の数 400個 普通株式 80,000株  第7回新株予約権 新株予約権の数 230個 普通株式 46,000株	第3回新株予約権 新株予約権の数 11個 普通株式 4,400株  第4回新株予約権 新株予約権の数 226個 普通株式 90,400株  第5回新株予約権 新株予約権の数 357個 普通株式 142,800株  第7回新株予約権 新株予約権の数 230個 普通株式 46,000株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。